

★その他市民の皆さんに伝えたいことは…

これからの暑い季節、熱中症対策にも水分補給は欠かせません。水道水は塩素消毒が義務付けられているため、その塩素の臭いを嫌がられて、水道水を飲むことを敬遠される方も多いと思います。しかし、塩素の臭いは、その水がしっかり消毒されていて安全ですという印です。

塩素の臭いが気になる場合、一度煮沸させるかレモン汁を加えると、臭いを和らげることができます。ただし、消毒効果がなくなるので、早めに飲みきるようにしてください。

「由美浜にある水再生センターでお聞きしました」

★大津市の下水処理施設はどこにありますか…

市内にはここ水再生センターと湖西浄化センターの2か所があります。水再生センターは大津市が、湖西浄化センターは滋賀県が管理しています。大津市内の下水が全てこの2か所に流れてくるわけではなく、地形の関係等により、湖南中部浄化センター(滋賀県管理)や石田水環境保全センター(京都市管理)に流れている場所もあります。

また、市内には下水汲み上げのためのポンプ場が145か所あり、それは大津市が管理しています。

下水道の役割は「街の衛生と暮らしを守る」「浸水から街を守る」「琵琶湖の環境を守る」ことにあります。

★下水処理の工程においてエネルギー使用量(電力消費)の大きい工程は…

工程は図のとおりです。家庭や工場から流れてきた汚水はまず「沈砂地」という池で、大きなごみ・小石・砂を取り除いた後「分配槽」に送りますが、そのとき、深いところから汲み上げますので、ポンプ用に大きな電力が必要です。

その後「生物反応槽」で汚水に活性汚泥を加えて空気を強く吹き込み、汚泥中の微生物の働きで水をきれいにしますが、空気を送り込む送風機にも大きな電力が必要です。この2つの工程で、処理全体の50%強の電力を消費しています。

★1日当たりの下水処理の量と使用する電気の量はどれくらいですか…

水再生センターの数値ですが、処理人口が約10.5万人で、1日に処理している水の量は約5万m³(学校のプール約200杯分)、1日の電気使用量は約2万kWh(家庭の約5年分)になります。

★家庭で使った水を下水に流す時の注意点は…

台所からは油や野菜くずを、トイレからは水に溶けない紙や布切れ等を流さないでください。下水道管やポンプが詰まります。

★下水を「新しいエネルギーを創り出す」ことに活用する方法はありますか…

まずは汚泥(図で茶色の流れ)の資源活用が挙げられます。他都市では、堆肥化や可燃性ガスの回収を行っています。水再生センターでは湖西浄化センターでの共同処理により、石炭代替燃料にしています。

汚泥以外の活用ですと、下水熱の利用や小型の水力発電機を設置する等の方法を他都市では実施しています。

【取材後の感想】

大津市民は、琵琶湖の水を生活に使い、使った後の汚れた水を再生処理して再び琵琶湖にかえしています。「琵琶湖と共に生きている」という思いを改めて実感しました。

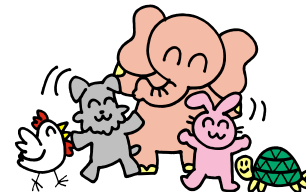
また、微生物が大切な役割を果たしていることも知りました。水処理の工程で大きな電力が使われることも分かりました。省エネのためにも「水を大切に使う」と思います。



下水処理の
主役・微生物
写真はつりがね虫

一言メモ

歯磨きで30秒間流し放しにすると6ℓの水を使い1.2ℓのCO₂を出します。コップに水をためて口を漱げば5ℓは節約でき朝晩2回として月間60ℓのCO₂が減らせます。水道代の節約にもなります。(大津市地球温暖化防止活動推進センター調べ)



おおつ 2017 エコフェスタ



家族みんなで学ぼう! 楽しもう! / クイズや工作に参加してみよう!

平成29年7月30日(日)
10時30分~15時00分
ピアザ淡海 3階大会議室
(大津市におの浜 1-1-20)

*環境配慮のため、ご来場は公共交通機関をご利用ください。

ステージイベント



あいあい太鼓



人形劇「ゴリゴリ、ゴリ君」



よし笛演奏



マジックショー



音入り: 街頭紙芝居

わくわく体験ブース

いろんなブースで楽しい工作や体験をし、エコについて学ぼう!

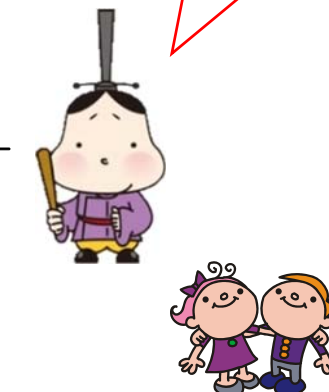
おおつ光くんと一緒に
写真も撮ろう!

エコグルメブース

環境にやさしくて、おいしい
グルメが盛りだくさん!
お弁当に近江米カレー、パンやコー
ヒーもあるよ。
お昼は何にしようかな?!

シールラリー

シールラリーにチャレンジ!
ブースをまわって
体験しよう・学ぼう!
シールを集めてピンゴが
完成すればおたのしみが!



プレゼント

大津市センターの講座案内(7月中旬~8月)

参加費
無料

☆ おおつ市民環境塾2017

講座5 体験学習「木工と木の人形作り」 7月29日(土) 13:30から16:00
場所: 明日都浜大津ふれあいプラザホール 定員: 30名
内容: 身近な木の端や木の実を活用し、環境問題を考え、想像力を養います。

講座6 体験学習「湖の学校 プラクトン・水草の学習」 8月5日(土) 9:15~12:30
場所: びわ湖大津館集合 定員: 30名(小学生以下は保護者同伴)
内容: プラクトン班は顕微鏡で観察、水草班は種類を知らべ標本づくり

☆ 地球温暖化防止事業

・ 体験学習「子どものエコ料理」 7月23日(土) 10:00から13:30
場所: 平野市民センター 対象: 小学4年生~中学生 定員: 20名
内容: 夏野菜いっぱいカレー、夏野菜の豆腐サラダなど

☆ 自然家族事業南部版

・ 「川の日」 7月22日(土) 9:15から12:00
場所: 坂本公民館・大宮川 定員30名(小学3年以下は保護者同伴)
内容: 大宮川で生きものを採取、公民館でおおまかな種分けを体験します。

・ 「湖の日」 8月26日(土) 8:30~12:30
場所: 環境学習船「megumi」号、琵琶湖博物館
内容: 環境学習船「megumi」号に乗って琵琶湖の環境を学び、琵琶湖博物館では「琵琶湖の環境と暮らし」のお話を聞きます。



*お問い合わせ 大津市地球温暖化防止活動推進センター (077-526-7545)